

## 財務諸表に対する注記

### 1. 重要な会計方針

#### (1) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

### 2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
銀行預金・定額預金	20,000,000	0	0	20,000,000
小 計	20,000,000	0	0	20,000,000
特定資産				
国際会議準備金	10,990,000	0	0	10,990,000
小 計	10,990,000	0	0	10,990,000
合 計	30,990,000	0	0	30,990,000

### 3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
銀行預金・定額預金	20,000,000	(0)	(20,000,000)	(0)
小 計	20,000,000	(0)	(20,000,000)	(0)
特定資産				
国際会議準備金	10,990,000	(0)	(10,990,000)	(0)
小 計	10,990,000	(0)	(10,990,000)	(0)
合 計	30,990,000	(0)	(30,990,000)	(0)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高  
該当事項はございません。

5. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高  
債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高は、次のとおり  
である。

(単位：円)

科 目	債権金額	貸倒引当金の 当期末残高	債権の当期末残高
未収金	145,000	0	145,000
合 計	145,000	0	145,000

6. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額の残高  
該当事項はございません。

## 収支計算書に対する注記

### 1. 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金、未収金、前払金、未払金、前受金、前受会費、預り金及び未払法人税等を含めている。

なお、前期末及び当期末残高は、下記2に記載するとおりである。

### 2. 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳 (単位：円)

科 目	前期末残高	当期末残高
現金預金	27,679,181	32,668,224
振替預金(会費)	4,877,219	4,941,369
振替預金	3,450,934	3,466,384
普通預金	19,351,028	24,260,471
前払金	597,200	318,000
前払費用	0	0
合 計	28,276,381	32,986,224
未払金	187,451	130,916
前受金	0	0
前受会費	2,457,000	2,460,600
預り金	72,954	38,487
仮受金	20,220	20,000
未払法人税等	70,000	70,000
合 計	2,807,625	2,720,003
次期繰越収支差額	25,468,756	30,266,221

### 3. 予算額と決算額との差異について

- (1) 学術集会事業収入のうちシンポジウム収入において、当初見積りから参加者数増により決算額が増額となった。
- (2) 他、会費収入が今年度は予算額より増額となった。
- (3) その他事業費支出について当初からの変更があり、差異が生じた。
- (4) 管理費支出給与手当支出では雇用計画の見直しにより決算額が減額となった